

# おと い ね っ ぶ む ら 音威子府村バイオマス産業都市構想の概要

北海道音威子府村、人口 約0.1万人、面積 約2.7万ha

## 構想の概要

草本系バイオマスを主な原料としてバイオガス発電を行い、バイオガスエネルギーを介在させた新たな畑酪連携による農業振興で、人口減少及び少子高齢化等の課題を解決し、定住者及び農業者の増加等の実現を目指す

## 1. 将来像

- ① 飼料の安定供給によるTMRセンターの設立、地域外への飼料供給、新規就農の促進、農家の収入増
- ② バイオガスプラントや飼料生産による新規雇用、人口の増加、農業の担い手増加
- ③ 地域内経済循環による地域の自立が強化、持続可能な社会が構築

## 3. 目標(10年後)

- ① 廃棄物系バイオマス
  - ・乳牛ふん尿 698 t
  - ・生ごみ126 t
  - ・下水汚泥、し尿の活用
- ② 未利用バイオマス
  - ・余剰牧草 1,450 t
  - ・ソバ茎葉 660 t
  - ・未利用の余剰コーン、遊休地雑草、林地残材の活用

## 5. 実施体制

- ・村、商工会、住民等で構成される「音威子府村自然エネルギー検討委員会」を中核として構想を推進
- ・各事業は村立民営を想定

## 2. 事業化プロジェクト

- ① 草本系バイオマスバイオガス化プロジェクト
  - ② 生ごみバイオガス化プロジェクト
  - ③ 下水汚泥・し尿バイオガス化プロジェクト
  - ④ バイオガスプラント余剰熱利用プロジェクト
- 各々のプロジェクトは連動しており、一体的なプロジェクトとして推進する。

## 4. 地域波及効果

- ① 経済波及効果
  - ・バイオガス事業:83百万円・経済波及効果:6.5百万円
- ② 新規雇用創出
  - ・常勤雇用3名+期間雇用・将来的な新規就農の促進
- ③ その他の波及効果
  - ・CO2削減:1,228tCO2/年
  - ・廃棄物処理量削減、遊休地活用の効果、モデル地域化、環境教育効果

## 6. その他

- ・「音威子府村総合計画」
- ・必要に応じて周辺自治体や道等の関係機関とも連携を図る

音威子府村バイオマス産業都市構想の概要

